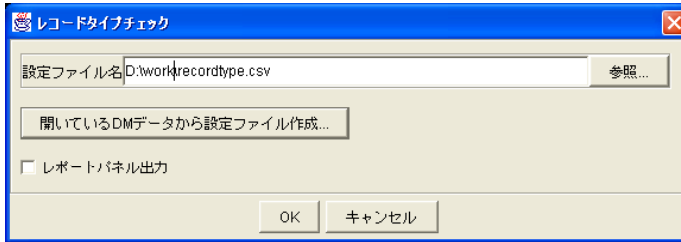


分類コード別に使用されているレコードタイプのチェック機能を追加しました。
以下は、操作説明書からの抜粋です。

【レコードタイプチェック】

各分類コード別に使われているレコードタイプ(面:E1, 線:E2, …)を指定し、該当しない要素をリストアップします。



最初に分類コードとレコードタイプの表を作成します。ボタン「開いている DM データから設定ファイル作成」を押し、CSV ファイル名を指定すると、開いている DM データファイルから使われている分類コードとレコードタイプの表を CSV 形式で作成します。

```
DMCodeTable, 1, GeoCaoch3D-DM-P, DM データファイルのレコードタイプチェック用
E, 2101, 線, . . . . . 真幅道路(街区線)
E, 2103, 線, . . . . . 徒歩道
E, 2106, 線, . . . . . 庭園路等
E, 2203, 線, . . . . . 道路橋
E, 2205, 線, . . . . . 徒橋
E, 2213, 線, . . . . . 歩道車道との界線を取得
E, 2214, 線, . . . . . 石段
E, 2301, 線, . . . . . 普通鉄道
E, 2401, 線, . . . . . 鉄道橋(高架部)
E, 3001, 線, . . . . . 普通建物
E, 3003, 線, . . . . . 普通無壁舎
E, 3516, 点, . . . . . 消防署
E, 4201, 点, . . . . . 墓碑
E, 4202, 点, . . . . . 記念碑
E, 4204, 点, . . . . . 路傍祠
E, 4205, 点, . . . . . 灯ろう
E, 4207, 方向, . . . . . 鳥居
E, 4219, 線, 方向, . . . . . 抗口
E, 4231, 線, 点, . . . . . タンク
E, 4235, 線, . . . . . 宮塔
```

【書式】

最初の 1 行はヘッダーです。1 列目は” DMCodeTable” , 2 列目は” 1” で固定。3 列目以降はコメントで、なくてもかまいません。

2 行目からデータです。1 列目は” E” の場合が有効な行となります。空白やスペースが入っている場合などは空白行としてスキップします。一時的に無効にする場合、何も入れないでください。2 列目は分類コードです。3 列目から 10 列目までがレコードタイプです。「面」「線」「円」「円弧」「点」「方向」「注記」「属性」がどの列に入っているともかまいません。1 1 列目からはコメントでなくてもかまいません。

次に、テキストエディタあるいは表計算ソフトでこの CSV ファイルを開き、不要な分類コードがあればその行を削除します。不要なレコードタイプがあれば、「点」「方向」などを削除します。

ダイアログで「OK」ボタンを押すと、「設定ファイル名」に表示されている CSV ファイルをリードし、CSV ファイルで指定されていない分類コードやレコードタイプの要素を[チェックリスト]パネルに表示します。また、設定ファイルの内容を[レポートパネル]にも表示します。

(1) test1.dm 7312 E6方向 図化機測定による標高点 (-200742.02, -56583.00, 504.70)
(2) test1.dm 7312 E6方向 図化機測定による標高点 (-200722.43, -56649.93, 535.69)
(3) test1.dm 7312 E6方向 図化機測定による標高点 (-200746.06, -56449.52, 536.79)
(4) test1.dm 7312 E6方向 図化機測定による標高点 (-200636.17, -56627.26, 527.83)
(5) test1.dm 7312 E6方向 図化機測定による標高点 (-200919.86, -56406.79, 496.80)
ガイド レポート チェックリスト 確認リスト 地形断面図作成支援

ダイアログの「参照」ボタンで設定ファイルが指定できます。設定ファイルが選択されると、リードして書式をチェックします。「設定ファイル名」に選択されたファイル名をセットします。このファイル名は次回起動時のデフォルトになります。